

近年インドの経済発展はめざましく、日本からの進出企業も1,000社を超え、急増しています。インドは現在12億の人口を擁し、アジアで最も人口増加が長続きし、息の長い成長が続くと見られている国です。

我が国では、森元首相が2000年、10年ぶりに現職の首相としてインドを公式訪問し、パジパイ首相との間で日印グローバル・パートナーシップを樹立して以来、経済交流が進展し、リーマンショック以来日本の大企業のインド進出は急速に加速しております。すでに1,000社を超えるインドへの進出は大企業のみならず中小企業に広がりつつあります。

今年5月に来日したシン首相は、首相としては4回目の来日。2006年から両国首相の1年ごとの相互訪問が始まりましたが、この相互訪問は日本にとってはインドのみです。インドにとっても日本とロシアの2カ国です。この相互訪問は両国の事務レベルの絆を一層深め、効率の良い目覚ましい2国間交流となっております。インドと地方との交流も文化のみでなく、経済へと広がりを見せております。

この度の講演会は新潟とインド、そして日本とインドとの「未来を考える交流」の機会になることでしょう。



講師の紹介

Deepa Gopalan Wadhwa, Ambassador
ディーパ・ゴパラン・ワドワ大使

1979年インド外務省に入省。北京には2回の駐在経験があり（1983年-1987年と1992年-1994年）、マンダリン語を話す。また、80年代後半にはインド外務省のパキスタン・デスクに勤務。多国籍機関における豊富な経験があり、国連機関では人権、非武装化、環境・社会問題を担当。また2001年には、国際労働機関（ILO）傘下の児童労働撲滅計画（IPEC）のニューデリー事務所長を務めた。香港、ジュネーブ、ハーグにも駐在。インド外務省国連経済社会局局長を務めた後、駐スウェーデン・ラトビアインド大使に任命された。来日前は駐カタール国インド大使（2009年3月-2012年6月）を務める。昨年8月に駐日インド大使として赴任。

Sanjay Panda, Deputy Chief of Mission
サンジャイ・パンダ首席公使

1962年生まれ。1983年デリー大学大学院卒（政治・国際関係修士号）。1984年ムンバイ 国営オリエンタル保険 行政官、1987年インド政府情報・メディア省入省、ニューデリー オール・インド・ラジオ ニュース編集者。1990年ニューデリー選挙委員会 広報官。1991年インド外務省に入省。1993-1994年 在ブリュッセルインド大使館 三等書記官、1994-1997年 在アンマンインド大使館二等書記官、2001-2004年在パリインド大使館一等書記官（報道情報文化担当）、2004-2008年在クアラランブールインド高等弁務団参事官、2008-2010年インド外務省課長（中国/東アジア）/局長。2010年8月駐日インド大使館首席公使として来日。

■ワドワ大使、パンダ首席公使 歓迎会■

日時：10月1日（火）18:30～20:00（受付開始18:00）

会費：10,000円（150名限定）

会場：ホテルイタリア軒3Fサンマルコ

歓迎会アトラクション：セライケラ・チョウ仮面舞踊（5名、インド大使館協力）、
インド人演歌歌手チャダ

主催：インド大使来県歓迎会実行委員会・NPO法人日印交流を盛り上げる会

■セライケラ・チョウ仮面舞踊（インド古典舞踊）新潟公演■

セライケラ・チョウは、東インド・ジャールカンド州セライケラ地方の伝統的な仮面舞踊。洗練された幽玄ともいえる仕草は能を思わせ、また土俗的で激しく躍動しながらも、その美しい型は武道の魂にも通じる。セライケラの伝統を受け継ぎ、5代目として世界で活躍しているシヤシャダル・アチャルヤ氏率いる5名によるセライク舞踊団による公演。

日時：10月2日（水）午後6:30開場 7:00開演

入場料：前売り2,500円（当日3,000円）（全席自由）

会場：県民会館小ホール（新潟市中央区一番堀通町3-13 TEL：025-228-4481）

主催：民俗芸術に親しむ会・新潟□

協力：インド大使館、新潟インド文化交流会、NPO法人日印交流を盛り上げる会



申込、お問い合わせ：NPO法人日印交流を盛り上げる会

948-0018 新潟県十日町市大池265 ミティラー美術館内

Tel.025-752-2396 Fax.752-6076 Mail：info@mithila-museum.com